ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 220
July
2011

トピックス

メンバー国との
防災協力推進

アジア防災会議2011
が開催されました

●メンバー国との防災協力推進

アジア防災会議2011が開催されました

2011年6月13～15日、スリランカ・コロンボにて、アジア防災センター（ADRC）は日本政府及びスリランカ民主社会主義共和国政府、国連国際防災戦略事務局（UN/ISDR）との共催により、アジア防災会議2011を開催しました。会議には、メンバー国及びオブザーバー国から27カ国政府、また国連・国際機関、地域機関、研究機関、援助機関、市民社会から26組織、120名を超える防災関係者、防災専門家が参加しました。

会議の開会式では、スリランカ防災省アマラウィーラ大臣及び日本国政府東祥三防災副大臣から、災害リスク削減に明確な展望と政策を持ち国や地方自治体の優先課題として災害に対する地域の取組を強化することの重要性が強調されました。また、東副大臣は東日本大震災に関する特別報告を行い、災害に対する政府の取組みと今後の復興方針を説明するとともに、世界各国からの支援に対する感謝を述べました。

アジア防災会議2011は、ADRCメンバー各国や国際・地域機関からの防災政策立案者・実務者が一同に会し、各国・各機関における経験や教訓を共有する良い機会となりました。

アジア会議で取り上げられた主な議題は以下のとおりです。

1. 災害リスク削減と気候変動対応策の統合
   （1）アジアの気候災害の経験から得た教訓
   （2）最新技術や取り組み事例紹介
2. 近年のアジアにおける災害の経験から得た教訓
3. 国際機関や地域機関における近年の取り組み紹介
4. ADRCの活動紹介と評価

会議初日は防災と気候変動をテーマとした特別セッションを設けました。これは近年アジア地域において災害リスク、特に気象災害リスクが高まっていることを背景としており、また昨年10月に韓国、インチョンで開催された第４回アジア防災閣僚会議（4thAMCDRR）のフォローアップとしても位置付けられるものです。スリランカ、タイ、インド、ロシアから近年の気候災害とその対応について発表があり、続いて気候災害に対する技術的対応について、世界気象機関（WMO）、国際総合山岳開発センター（ICIMOD）、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）、アジア工科大学（AIT）、世界銀行、国際協力機

Asian Disaster Reduction Center
アジア防災センター

〒651－0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2　東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2011

続き

構(JICA)から取り組みの現状や技術報告が行われました。その後、参加者は災害予防、緊急対応、復旧・復興の災害フェーズごとにグループに分かれ、ニーズや課題について議論し、今後に向けた提言を取りまとめました。

【主な提言】
・総合的気象情報収集
・早期警報の制度化
・信頼性・利便性の高いツールの開発
・メンバー国間の連携強化
・住民意識高揚、教育推進
・多部門、関係者、特にコミュニティとの連携、活用
・関係者間のコミュニケーション、調整の強化
・オーナーシップの強化

会議二日目は近年巨大災害に見舞われた、日本、パキスタン、インドネシア、ミャンマーから、災害とその対応策が発表されました。次いで世界・地域規模（ISDR第3回グローバルプラットフォーム、4thAMDCRR、5thAMDCRR、中央アジア）での取り組み状況、またアジア太平洋経済社会委員会（ESCAP）、アジア太平洋放送連合（ABU）、国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）、科学技術振興機構（JST）の活動報告があり、最近のアジア地域における災害状況、災害リスク管理に向けた取り組みの動向について情報共有され、活発な議論が交わされました。
また、ADRCの主な活動について発表し、ピアレビュー、技術移転の継続的展開が希望されるとともに、IRP活動の強化が期待されました。

三日目はコロンボ市郊外にある洪水管理プロジェクト実施地域の視察を行いました。最初に区役所で地域の脆弱性とプロジェクトの概要について説明を受けました。現地ではコミュニティセンターで地域住民からの説明を受け、プロジェクトの実施によって地域の災害リスクが軽減したとともに日常生活環境が劇的に改善された現地を視察しました。本プロジェクトは、災害対策が衛生環境改善や地域開発と結びついた事例であり、多くの参加者が詳細について関心を示しました。

最後に、ご発表者の方々による大変有用で示唆に富んださまざまな事例のご紹介と参加者のみなさまの積極的なご参加によって、ACDR2010が成功裏に終了することができましたこと、ここに改めて御礼申し上げます。アジア防災センターは、引き続き本会議で検討されたことをフォローアップしながらアジア地域での国際防災協力を推進していく所存です。
会議の詳細につきましては、下記のウェブサイトをご覧ください。
（http://www.adrc.asia/acdr/2011_index_j.html）

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。